

セメント混和用軽量骨材

NSハイサンド

A(内部用)・B(外部用)・C(補修用)・ミクロ



NSハイサンドは、ポリスチレンまたはEVA炭カル粒を主材とし、再乳化形粉末樹脂、増粘剤、繊維等を適正に配合したセメント混和用軽量骨材です。

NSハイサンド

Aタイプ・Bタイプ・Cタイプ・ミクロ

セメント混和用軽量骨材



特長

- 接着性・弾力性に富み、モルタルの乾燥収縮による内部応力を分散吸収して剥離を生じにくくさせます。
- 接着耐久性に優れ、長期間高い接着力を保持します。
- 断熱性に優れ、結露防止に効果があります。
- 軽量で取り扱いやすく、作業性が抜群です。

標準仕様

品名	項目	主成分	用途	適用下地	標準塗厚 (mm)	塗面積 (㎡)
NSハイサンド	Aタイプ (内部用)	ポリスチレン	内壁セメント混和用の軽量骨材	コンクリート	3~10	8(5mm厚)
	Bタイプ (外部用)	EVA炭カル粒	内外壁セメント混和用の軽量骨材	P C 板	3~10	5(5mm厚)
	Cタイプ (補修用)	EVA炭カル粒		ALCパネル	2~5	5(5mm厚)
	ミクロ (極薄用)	EVA炭カル粒	外壁薄塗仕上げセメント用軽量骨材	ブロック モルタル ラス下地	1~3	7(3mm厚)

性能

試験項目 (単位)	Aタイプ (内部用)	Bタイプ (外部用)	Cタイプ (補修用)	ミクロ (極薄用)	試験方法
単位容積質量 (kg/ℓ)	1.04	1.49	1.72	1.67	JASS 15 M-102「既調合セメントモルタル」による。
軟度変化 (%)	6.0	2.5	4.7	0.0	
曲げ強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	2.2 {22}	4.0 {41}	5.8 {59}	6.0 {61}	
圧縮強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	7.6 {78}	18.1 {185}	30.4 {310}	31.1 {317}	
接着強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	1.2 {12.2}	1.6 {16.3}	1.8 {18.4}	1.9 {19.4}	
吸水量 (g)	17.7	8.1	8.5	9.3	
透水量 (ml/h)	0.2	0.6	0.1	0.5	
熱伝導率 (W/m・K) {kcal/m・h・°C}	0.34 {0.29}	0.55 {0.47}	0.65 {0.56}	0.64 {0.55}	

日本化成(株)中央研究所

施 工 法

1 下地処理

- 下地の脆弱層、レイトンス、汚れ等を入念に除去し、水洗いを行なうなどの下地処理をして健全な下地状態としてください。
- NSハイフレックスHF-1000の3倍液を塗布してください。

2 練混ぜ

- NSハイサンド1袋とセメント25kgを十分に空練りした後、NSハイフレックスHF-1000 1kgおよび所定量の水を加え、モルタルミキサーなどでよく練り混ぜてください。
- 本品は1袋ごとに成分調整していますので、必ず1袋単位で使用してください。
- 混練材料は加水後1時間以内に使用し、練足しおよび水を加えての練戻しは避けてください。

■ 標準調合

NSハイサンド Aタイプ 1袋	+	セメント 1袋 25kg	+	NSハイフレックス HF-1000 1kg	+	清水 11~12ℓ
■ 空練り1~2分						
NSハイサンド Bタイプ 1袋	+	セメント 1袋 25kg	+	NSハイフレックス HF-1000 1kg	+	清水 9~10ℓ
■ 空練り1~2分						
NSハイサンド Cタイプ 1袋	+	セメント 1袋 25kg	+	NSハイフレックス HF-1000 1kg	+	清水 8~9ℓ
■ 空練り1~2分						
NSハイサンド ミクロ 1袋	+	セメント 1袋 25kg	+	NSハイフレックス HF-1000 1kg	+	清水 9~10ℓ
■ 空練り1~2分						

※ NSハイサンドシリーズには **セメント50kg対応品** (セメント2袋用) もございますのでご用命下さい。なお、配合はハイサンドシリーズ(セメント50kg対応品)1袋に対してセメント、ハイフレックス及び水は上記配合の2倍量でご使用下さい。

3 塗付け

- NSハイサンドモルタルを金ごてにて、こて圧をかけて塗り付けてください。

4 養生

- ドライアウト防止のため、施工の翌日に施工完了面への散水を行なってください。
- 夏期日照時は、特に水引き具合にあわせた散水が必要です。
- 塗付け後の養生期間は通常は1週間、冬期には2週間以上としてください。

使用上の注意

- 指定材料以外の他の材料との混合は避けてください。
- 強い直射日光や激しい通風による急乾燥は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は水で洗浄してください。
- 気温が3℃以下になる場合は、施工を避けてください。

記載されている注意事項は必ずお読みください。また、本カタログは大切に保存してください。

安全上の注意【応急措置】

- 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分に洗浄し、状況に応じ医師の診断をうけてください。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を水または温水を流しながら石鹼で洗い流してください。状況に応じて、医師の診断をうけてください。
- 吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに新鮮な空気の場合に移動し、水または温水でうがいをしてください。状況に応じて、医師の診断をうけてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み、吐き出した後、直ちに医師の診断をうけてください。

取扱い上の注意

- 目、皮膚、および衣類に触れないように適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用してください。
- 取扱い後は、顔、手、口等は水で洗浄してください。

輸送上の注意

- 袋の破れ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- 降雨等の水濡れ防止に配慮してください。

漏出時の注意

- 飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収してください。

廃棄上の注意

- 未使用の製品、混練材料、器具等の洗浄水を廃棄する場合は産業廃棄物として、適切な処理をしてください。

保管上の注意

- 開封後の材料は使いきってください。
- 製品は屋内に保管してください。

ここに記載されている内容は、作成現時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。ご使用に際しては適切な使用方法と安全対策にご注意のうえ、お取扱いくさるようお願いいたします。

日本化成株式会社

- | | | | |
|--------|--------------------------------|----------------|-------------------|
| ■本 社 | 〒160 東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル | ☎(03)5389-1211 | FAX (03)5389-3789 |
| ■関東支社 | 〒160 東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル | ☎(03)5389-1261 | FAX (03)5389-1231 |
| 横浜営業所 | 〒224 横浜市都筑区茅ヶ崎中央42-21 第2佐藤ビル4F | ☎(045)943-0661 | FAX (045)943-0663 |
| 仙台営業所 | 〒981 仙台市青葉区堤通雨宮町4-11 伊藤ビル | ☎(022)276-8031 | FAX (022)276-8072 |
| 札幌営業所 | 〒003 札幌市白石区栄通り9-1-31 山倉ビル201号 | ☎(011)852-1000 | FAX (011)855-5191 |
| ■関西支社 | 〒530 大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル | ☎(06)315-1331 | FAX (06)315-1336 |
| 名古屋営業所 | 〒460 名古屋市中区錦1-3-4 三栄ビル | ☎(052)211-5748 | FAX (052)211-5749 |
| 岡山営業所 | 〒700 岡山市今2-1-29 | ☎(0862)43-7781 | FAX (0862)43-7782 |
| ■九州支社 | 〒810 福岡市中央区大名2-10-28 日興ビル | ☎(092)761-5925 | FAX (092)721-5300 |
| 広島営業所 | 〒733 広島市西区上天満町9-2 免出ビル | ☎(082)295-1323 | FAX (082)295-0991 |
| ■中央研究所 | 〒355 埼玉県比企郡滑川町大字都25-11 | ☎(0493)56-4510 | FAX (0493)56-4466 |
| ■営業開発部 | 〒160 東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル | ☎(03)5389-1216 | FAX (03)5389-1221 |
| ■工場 | 小川（埼玉）・滑川（埼玉）・水口（滋賀）・桂川（福岡） | | |

特約店